

現代ビジネス学部
SUGIYAMA Yasushi
PROFILE
職名
現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科教授 文化政策研究センター所長
学歴
立命館大学大学院文学研究 科英米文学専攻修士課程修 了（1974）
学位
文学修士（立命館大学、 1974）
所属学会
日本ロレンス協会、日本英 文学会
専門分野
20世紀英文学

杉山 泰

すぎやま やすし

研究課題1 ● D.H.ロレンスの小説研究（生と死、無人称世界、見えざる世界）

研究課題2 ● 日英語対照研究、英日翻訳研究

研究課題3 ● イギリスの文化政策

業 績

【著書】

『ロレンス研究―「虹」―』／朝日出版社、1977年7月、共著。

『ロレンス研究―「恋する女たち」―』／朝日出版社、1979年10月、共著。

『ロレンス研究―「息子と恋人」―』／朝日出版社、1980年7月、共著。

『ロレンス研究―「墮ちた女」―』／朝日出版社、1982年3月、共著。

『ロレンス研究―「アロンの杖」―』／朝日出版社、1988年11月、共著。

『ロレンス研究―「カンガル」―』／朝日出版社、1990年6月、共著。

『ロレンス研究―「羽鱗の蛇」―』／朝日出版社、1994年11月、共著。

『D.H.ロレンスと日本』／京都修学社、1995年10月、単著。

『D.H.ロレンス絵画集』／本の友社、1997年5月、共著。

『ロレンス研究―「チャタレー卿夫人の恋人」―』／「日本における『チャタレー卿夫人の恋人』受容史―方言の翻訳の問題点」、朝日出版社、1998年2月、共著。

『初めて学ぶ翻訳と通訳―言語コミュニケーション入門―』／松柏社、1998年3月、共著。

『文化政策入門』／「異文化との出会い」、丸善ライブラリー、2001年2月、共著。

『ロレンス研究』／「『白孔雀』の中に描かれたピアノ―労働者階級のリスペクタビリティ」、朝日出版社、2003年3月、共著。

『文化政策学の展開』／「イギリスにおける村おこし―D.H.ロレンスとウィリアム・モリスの村―」、晃洋書房、2003年3月、共著。

『＜悪女＞の文化誌』／「D.H.ロレンスが描き出す『月の女神』としての『魔女』」、晃洋書房、2005年3月、共著。

【論文】

「D.H.ロレンス―その闇の世界の探究」／『研究報告』第15巻2号、長崎造船大学、1974年10月、単著。

「他者との出会いと母語への目覚め」／『英語教育』10月号、大修館、1979年10月、単著。

「日英文化比較考―D.H.ロレンスの『谷底長屋』に住んで―」／『人文社会研究』第3号、長崎造船大学、1981年3月、単著。

「いまなぜ外国語か―英語を通して日本語を眺める―」／『橘女子大学研究紀要』第10号、1983年7月、単著。

「‘Death and Life’ in D.H.Lawrence」／『橘女子大学研究紀要』第13号、1986年12月、単著。

「D.H.ロレンスの教育論」／『立命英米文学』10号、衣笠英米文学会、1992年10月、単著。

「D.H.ロレンスと日本」／『立命館文学』531号、立命館大学人文学会、1993年9月、単著。

「イギリス小説の中の女たち―イギリス小説の抬頭と女性差別の時代」／『京都橘女子大学女性歴史文化研究所紀要』第3号、1995年3月、単著。

「イギリス留学発見の旅―D.H.ロレンス、アラン・シリトー、バイロン、パット・マクグラス―」／『京都橘大学研究紀要』第33号、2007年1月、単著。

「D.H.ロレンスが描き出した故郷―イギリス留学で発見したこと―」／『立命館英米文学』第16号、2007年3月、単著。

【翻訳】

『不死鳥 上』(D.H.ロレンス著)／山口書店、1984年4月、共訳。

『不死鳥 下』(D.H.ロレンス著)／山口書店、1986年12月、共訳。

『不死鳥 II』(D.H.ロレンス著)／山口書店、1992年4月、共訳。

『ポスト・モダンのD.H.ロレンス』／松柏社、1997年2月、共訳。

『モダニズムと神話』／「はじめに」「世界観の時代における神話」「D.H.ロレンス―わたし、気を失っているのかしら」、松柏社、2000年11月、共訳。

『D.H.ロレンス批評地図』(キース・ブラウン編著)／松柏社、2001年7月、共訳。

『D.H.ロレンス書簡集』第Ⅲ巻／松柏社、2005年3月、共訳。

『D.H.ロレンス書簡集』第Ⅳ巻／松柏社、2007年9月、共訳。

『D.H.ロレンス書簡集』第Ⅴ巻／松柏社、2008年3月、共訳。

『D.H.ロレンス書簡集』第Ⅱ巻／松柏社、2008年12月、共訳。

『D.H.ロレンス書簡集』第Ⅰ巻／松柏社、2010年3月、共訳。

【翻訳復刻】

The Paintings of D.H.Lawrence／1929年版 マンドレイク社の絵画集の復刻、本の友社、1996年12月、単著。

【国内学会発表】

「“culture of nature”をキーワードとして―“culture of nature”とその翻訳語『自然という文化』の意味のずれ―」日本ロレンス協会／同志社大学、2000年6月、共同。

「イギリスにおける『チャタレー裁判―ヴィクトリア時代の性の検閲』」日本ロレンス協会第38回大会／神戸女学院大学、2007年6月、共同。

【講演】

「D.H.ロレンスの教育論」／父母の会文化講演（名古屋）、橘女子大学、1986年11月、単独。

「D.H.ロレンスと日本」／大学連続公開講座（京都アスニー）、京都橘女子大学、1993年11月、単独。

「21世紀にむけた魅力的大学像：魅力的教授法のデザイン『外国語教育と女子学生』」／長崎総合科学大学地域文化研究所、1995年12月、共同。

「イギリス小説の中の「余った女」たち―D.H.ロレンス『墮ちた女』のアルヴァイナ・ハフトンの生き方を中心に―」／公開セミナー「文学の中の女たち」、京都橘女子大学、1996年6月、単独。

「英日翻訳の現場―『十二指腸』から『ディコンストラクション』まで―」／京都橘女子大学文学文化セミナー「異文化理解の最前線」、アスニー山科、1999年5月、単独。

「ヴィクトリア時代の『余った女たち』とピアノ」／熊本県立大学、熊本県立大学英文科、2000年11月、単独。

「D.H.ロレンスが描き出した故郷」／立命館大学英米文学会第16回大会、2006年6月、単独。

【その他】

＜編集＞甲斐貞信著『ロレンスと神話―よみがえる原風景―』／山口書店、1988年12月、単著。

＜書評＞橋本宏著『D.H.ロレンス研究―その生涯と作品』／『D.H.ロレンス研究』、2001年3月、単著。

＜テキスト＞杉山泰編集『知って得する豆知識―ショート・リーディングと基礎文法―』／朝日出版社、2005年4月、共著。

＜テキスト＞杉山泰編集『目からウロコのホントの話―ショート・リーディングと基礎文法―』／朝日出版社、2005年4月、共著。

＜テキスト＞杉山泰編集『日英語対照：楽しく覚える英文法』／朝日出版社、2008年1月、共著。

＜書評＞武藤浩史著『「チャタレー夫人の恋人」と身体知―精読から生の動きの学びへ』／『D.H.ロレンス研究』、2011年3月、単著。